

Ⅱ. 所沢図書館の現状

1. 図書館を取り巻く状況

(1) 図書館関連の法制の動向

- 平成13(2001)年、図書館法第18条に基づく「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され、蔵書冊数など「指標」の選定及び「数値目標」の設定は、各地方公共団体に委ねられることとなりました。
- 平成13(2001)年「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、子どもの読書活動の基本理念が定められました。
- 平成15(2003)年「地方自治法」の改正に伴い指定管理者制度が導入され、民間事業者を含めた法人等による図書館の管理が可能となりました。
- 平成17(2005)年「文字・活字文化振興法」が制定され、文字・活字文化振興の基本理念が定められ、国や地方公共団体の責務を明らかにしました。
- 平成18(2006)年「教育基本法」が改正され、生涯学習の基本理念が定められました。
- 平成20(2008)年「教育基本法」の改正をふまえ、「社会教育法」「図書館法」が改正されました。
- 平成23(2011)年「地域主権改革第2次一括法」により、「図書館法」「社会教育法」等の一部が改正されました。

(2)国等の政策・報告等

- 平成10（1998）年、生涯学習審議会社会教育分科審議会計画部会図書館専門委員会が、「図書館の情報化の必要性とその推進方策について―地域の情報化推進拠点として（報告）」を公表しました。高度情報化社会の進展に対応した図書館の新しい情報サービスの在り方が求められています。
- 平成12（2000）年、文部省・地域電子図書館構想検討協力者会議が、「2005年の図書館像 ～地域電子図書館の実現に向けて～（報告）」を公表しました。
- 平成13（2001）年、文部科学省が、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を告示しました。その後、図書館法の改正、社会の変化や地域課題の複雑化・多様化等を受け、平成24（2012）年12月に、同省は「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」として、全部改正を告示しました。
- 平成18（2006）年、これからの図書館の在り方検討協力者会議により、「これからの図書館像 ―地域を支える情報拠点をめざして―」が、発表されました。

※「これからの図書館像 ―地域を支える情報拠点をめざして―」

これからの図書館の在り方検討協力者会議（平成18年3月提言）

平成13年に施行された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を補完し、施行後の社会や制度変化、新たな課題等に対応するため、地域や住民の課題解決を支援する機能の強化など、これからの図書館サービスに求められる新たな視点や方策等についての提言を行っています。

2. 所沢市の状況

(1)市の概要

本市は、埼玉県南西部に位置し、県内で5自治体、都内で5自治体の、計10自治体と隣接しており、北東部は三芳町、新座市、北部は川越市、狭山市、北西部は入間市、南部は柳瀬川をはさんで東京都と接しています。

市域の形状は、東西約15.6km、南北約9.1kmで横に長く、北に頂点をもつ三角形をなし、約72万km²の面積の大半は台地です。

市内の地域区分は、旧町村をベースに、11の地区に分かれています。

市域には、5路線11駅の鉄道網があり、都心へも短時間でアクセスできるため、鉄道交通の利便性が高い市でもあります。

面積	71.99km ²
人口	総人口:34万3107人(世帯数:14万9683世帯)
隣接自治体	県内:入間市、狭山市、川越市、新座市、三芳町 都内:清瀬市、東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町
鉄道(駅名)	西武鉄道:西武新宿線、池袋線、狭山線、山口線 所沢駅、航空公園駅、新所沢駅、西所沢駅、小手指駅、 狭山ヶ丘駅、下山口駅、西武球場前駅、遊園地西駅、 秋津駅 JR:武蔵野線 東所沢駅
地域区分	並木、所沢、小手指、新所沢、新所沢東、吾妻、松井、柳瀬 富岡、三ヶ島、山口

※人口は、平成23年12月末現在の数値

(2)人口状況

ア 市全体の予測

本市においては、団塊の世代が平成24（2012）年度より高齢期を迎えることから、今後、急激に高齢化が進行することが見込まれています。一方、0～14歳の年少人口や15～64歳の生産年齢人口の割合は、次第に低下する傾向にあります。

今後の将来人口の予測では、平成33年には年少人口比率が11%、高齢者人口（65歳以上）が9.2万人、高齢化率は27%になると予測されています。

【将来人口の推計】 各年12月末日現在(単位:人)

年次	総数	年齢構成別(構成比%)					
		0～14歳	構成比	15～64歳	構成比	65歳以上	構成比
平成25年 (2013年)	343,363	42,954	12.51	221,741	64.58	78,668	22.91
平成26年 (2014年)	343,255	42,385	12.35	218,566	63.67	82,304	23.98
平成27年 (2015年)	342,971	41,662	12.15	216,223	63.04	85,086	24.81
平成28年 (2016年)	342,534	41,025	11.98	214,340	62.57	87,169	25.45
平成29年 (2017年)	341,941	40,434	11.82	212,655	62.19	88,852	25.98
平成30年 (2018年)	341,191	39,688	11.63	211,388	61.96	90,115	26.41

※平成23年12月31日現在のデータを基にした推計値

資料:政策企画課

イ 流出入人口

1日の流出入人口の状況は、市民の31%が通勤・通学で市外に出ています。そのうち約70%（7.2万人）は東京都への通勤・通学者で、その他は近隣の狭山市・入間市・川越市となっています。一方、昼間人口の約19%（5.3万人）は、市外から通勤・通学で流入しています。

※出典:平成17年国勢調査

(3)地域別の特性

	地域特性	将来人口	H22 高齢化率	H42 高齢化率
所沢	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅を中心に商業、業務の機能が集積している。 ・中高層マンションが多く立地。 ・今後も人口は増加していく。 	上昇	17%	20%
並木	<ul style="list-style-type: none"> ・航空公園駅周辺には、行政施設・文化施設が集積している。 ・地域東部の駅から離れたエリアで、宅地開発 ・すでに人口減少が始まっており、今後は更に減少率が高くなる。 	減少	24%	40%
小手指	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年代より土地区画整理事業により、宅地・マンション開発が行われ、現在も開発が進んでいる。 ・地域内の約半分が市街化調整区域 ・生産年齢人口比率が高く、今後も人口が増加する。 	上昇	18%	26%
新所沢	<ul style="list-style-type: none"> ・市域内で、最も早く宅地開発が行われた地域 ・再開発による世代の入れ替わりが起きている。 ・今後は人口は横ばい。 	横ばい	19%	26%
新所沢東	<ul style="list-style-type: none"> ・新所沢駅を中心に住宅地が形成され、人口密度は高くなっているが、大規模な開発は行われていない。 ・今後人口減少傾向へ転換する。 	減少	20%	31%
吾妻	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅を中心に住宅地が形成された古くからの住宅地 ・地域南部に松が丘団地が立地し、住民は定住化している。 ・今後人口減少傾向へ転換し、高齢化が進展する。 	減少	19%	29%
松井	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加期に住宅が周辺へスプロールしていった。 ・東所沢駅を中心に土地区画整理事業に伴う、集中的な宅地開発が行われた。 ・今後人口減少傾向へ転換し、高齢化が進展する。 	減少	19%	29%
柳瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・東所沢駅周辺開発の住宅地以外は市街化調整区域が広がっており、農地利用が見られる。 ・所沢IC周辺に物流施設が立地 ・今後は人口減少、急速に高齢化進展 	減少	13%	29%
富岡	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の過半が市街化調整区域 ・昭和60年代に宅地開発されたエリアに日大芸術学部が立地 ・今後の人口減少率が高く、高齢化率が高い。 	減少	24%	36%
三ヶ島	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の過半が茶園等の市街化調整区域が広がる集落地 ・早稲田大学キャンパスが立地 ・今後の人口は減少傾向へ転換 	減少	23%	34%
山口	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山近郊緑地保全区域があり、豊かな自然が残されている。 ・野球場、ゴルフ場等のレクリエーション施設が立地している。 ・今後の人口減少率が高く、高齢化率が高い。 	減少	21%	36%

資料：『所沢市公共施設マネジメント白書』

(4)財政状況

所沢市では、市税が歳入の約60%を占めていますが、長引く不況等の影響などから減少傾向にあり、今後も大きな回復は期待できそうにありません。

一方、本市の普通会計（決算）歳出額の内訳を、目的別経費の推移で見ると、少子高齢化の急速な進行や生活保護世帯の大幅な増加等の影響により、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉といった民生費が年々増加しており、他の経費を圧迫する状況にあります。

(単位:億円)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	
歳入	848	854	894	914	907	
歳出	総務費	120	98	111	157	107
	民生費	272	305	289	296	356
	衛生費	104	104	92	92	93
	土木費	105	99	95	95	84
	消防費	36	36	39	36	35
	教育費	92	93	101	112	111
	公債費	71	75	76	75	74
	その他	17	13	13	14	17
	計	848	854	894	914	907

参考:「所沢市の財政のツボ」

3. 所沢図書館の沿革

昭和39（1964）年9月、所沢市立所沢図書館は、それまで青年団の手によって運営されていた図書室を引き継ぐという形で、所蔵冊数4,000冊足らずの小さな図書館として発足しました。

その後、市民の文化的欲求の高まり、蔵書冊数の増加等から、昭和45（1970）年、市制施行20周年記念事業の一つとして、文化会館3・4階に併設・移転しました。昭和47（1972）年には、地域サービス拡充に向け、1台目の移動図書館車を購入、昭和50（1975）年には2台目を増車しました。

昭和55（1980）年5月、現在の本館を「所沢図書館」として、新たに開館しました。

同時に、サービス向上の観点から、電算システムの導入も行いました。平成11（1999）年には、インターネットから所蔵資料の検索・予約も可能になり、貸出・予約数が飛躍的に増加しました。

子どもたちへのサービスは、早くから力を入れており、平成4（1992）年には、司書が市内の全小学校で図書館利用案内とブックトーク（本の紹介）を行う学級訪問と、学校団体貸出を開始しています。

その後も、「暮らしの中に図書館を」をモットーに、すべての市民に親しまれ、役立つ図書館を目指し、6カ所の分館を設置するとともに、平成17（2005）年からは、コンビニエンスストア（平成23年度末6店舗）での図書取次事業も開始しました。利用の促進を図ることを目的に開始された、この事業は、所沢図書館の特徴的なサービスとなっています。

平成22（2010）年4月には、所沢分館をそれまでの市民文化会館

から「所沢ハーティア」東棟に移転開館、続いて平成24（2012）年4月、7番目の分館として新所沢分館を開館しました。

また、同年4月からは、新設の新所沢分館を含む7カ所の分館全てに指定管理者制度を導入し、民間活力による新たなサービスの展開を図っています。

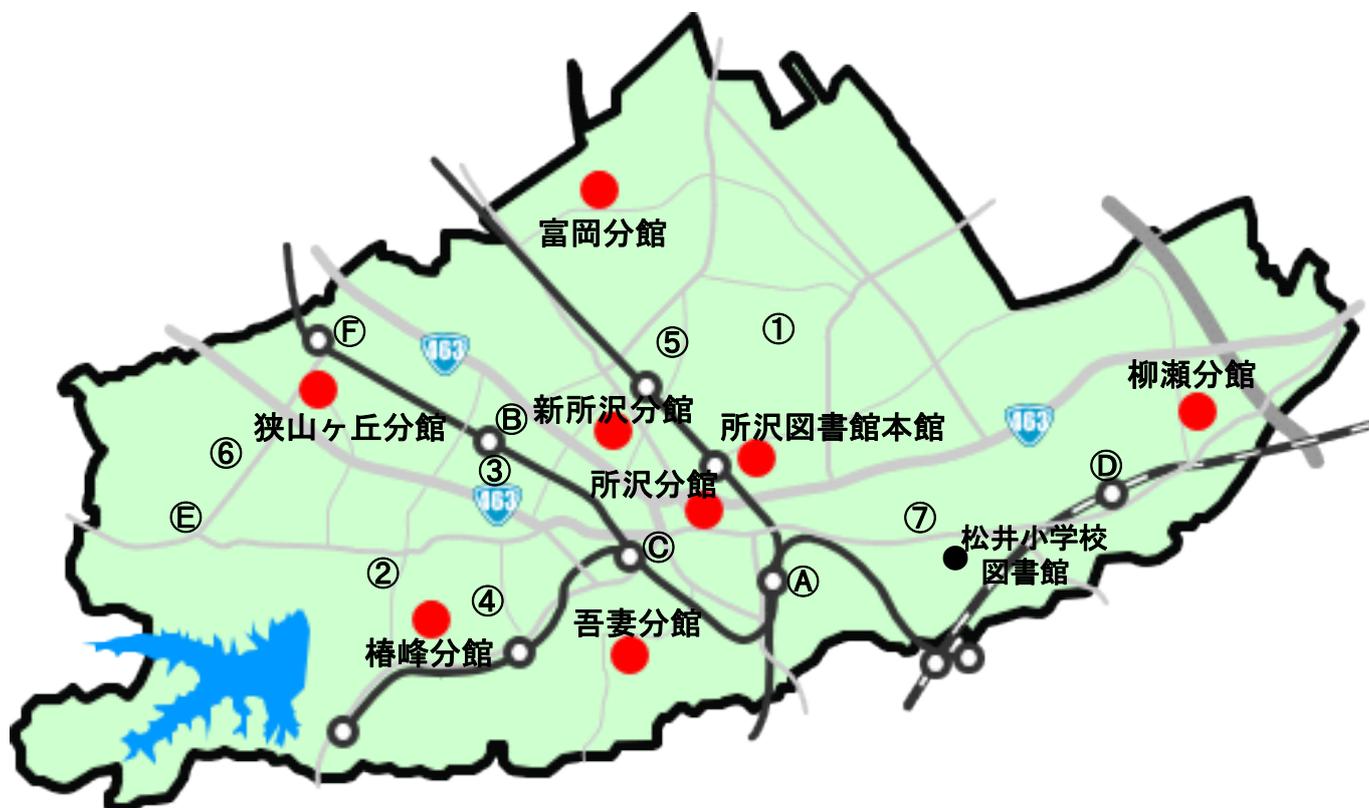
本館と7カ所の分館は、資料の選定・購入の一元化のほか、貸出用図書等の所蔵館を固定せず、返却された館の蔵書となる「所在館方式」を取るなど、全館を一館と見なした統合的な運用を行っています。

現在、蔵書は約90万冊を擁し、のべ貸出利用者数も、平成23年度末で約55万人に上っています。

【図書館年表】

元	年 月	事 項	元	年 月	事 項
昭 和	39. 9	有志による図書館運営を市に移管	平 成	9. 3	CDの個人貸出開始
	39. 9	所沢市立所沢図書館開館		10. 3	ビデオの個人貸出開始
	45. 12	所沢市文化会館に移転		11. 4	インターネット検索・予約開始 貸出数1人図書5冊、CD・ビデオ は合わせて2点までに改定
	47. 9	移動図書館車購入、運行開始		17. 6	コンビニ図書取次事業開始
	50. 4	移動図書館2号車購入、運行開始		17. 6	所沢市立松井小学校図書館開館
	51. 9	“おはなし会” 行事開始		18. 3	移動図書館車事業廃止
	53. 2	“対面朗読” サービス開始		18. 7	DVDの個人貸出開始
	55. 5	本館を航空記念公園内に建設 旧図書館を所沢分館とする 図書館電算システム導入		20. 1	本館にビジネス支援コーナー、 健康・医療コーナー設置
	59. 5	椿峰分館開館		21. 3	“子どもの読書活動推進計画” 策定
	59. 6	狭山ヶ丘分館開館		21. 4	貸出数1人図書10冊、CD・DVD・ ビデオは合わせて2点までに改定
62. 7	富岡分館開館	22. 4	所沢分館移転、窓口業務委託 視聴覚資料を所沢分館に移管		
63. 11	吾妻分館開館				
平 成	4. 5			柳瀬分館開館	
	4. 9			司書による学級訪問開始	
成	6. 5	利用者用端末機設置	24. 4	新所沢分館開館 7分館に指定管理者制度導入	
	7. 10	狭山・入間・飯能の相互利用開始			

【図書館サービスネットワーク図】



コンビニエンスストア図書等取次店舗

- ① ファミリーマート所沢駅前店
- ② ファミリーマート小手指店
- ③ ファミリーマート西所沢駅前店
- ④ ファミリーマート東所沢駅前店
- ⑤ ファミリーマート所沢三ヶ島五丁目店
- ⑥ ファミリーマート西武狭山ヶ丘駅前店

返却ポスト設置場所

- ① 並木まちづくりセンター
- ② 小手指まちづくりセンター
- ③ 小手指公民館分館
- ④ 山口まちづくりセンター
- ⑤ 新所沢東まちづくりセンター
- ⑥ 三ヶ島まちづくりセンター
- ⑦ 松井まちづくりセンター

平成24年12月末現在

【図書館施設概要一覧】

名称	所在地	延床面積 (㎡)	開設年	併設施設	収容可能 冊(点)数
所沢図書館 本館	並木一丁目 13番地	3,578.87㎡	S55年	—	約35万冊
所沢分館	元町 27番1号	2,335.72㎡	H22年 移転開設 (S55年設置)	所沢まちづく りセンター	約13万冊
樺峰分館	大字山口 5267番地	724.278㎡	S59年	—	約6万冊
狭山ヶ丘 分館	若狭四丁目 2478番地の4	498.13㎡	S59年	狭山ヶ丘 コミュニティ センター	約7.1万冊
富岡分館	大字北岩岡 117番地の1	337㎡	S62年	富岡まちづく りセンター	約5.2万冊
吾妻分館	大字久米 2229番地の1	234㎡	S63年	吾妻まちづく りセンター	約3.7万冊
柳瀬分館	大字城 964番地の8	389㎡	H4年	柳瀬まちづく りセンター	約6万冊
新所沢 分館	緑町一丁目 8番3号	847.06㎡	H24年	新所沢まちづ くりセンター	約12万冊

4. 数字で見る所沢図書館

(1) 図書館利用状況の推移

ア 貸出数

平成11年度、21年度に貸出冊数変更、平成18年度にコンビニエンスストア図書取次事業を本格稼働したことにより、長期的な推移では、増加しています。

(単位:冊・点)

年度	H3	H8	H13	H18	H23
貸出数	984,522	1,244,532	1,421,931	1,492,987	1,639,133

イ のべ貸出利用者数

分館の開館、コンビニエンスストア等サービスの拡大などから、長期的には増加していました。しかし、平成23年度は、震災の影響やシステム更新のための休館の影響で、利用が減少しています。

(単位:人)

年度	H3	H8	H13	H18	H23
利用者数	346,293	447,645	500,080	554,392	544,639

ウ 実利用者数

実利用者数は、近年、減少傾向にあります。貸出数は増加しているため、リピーター及び1人当たりの利用数が増加していることとなります。

※実利用者数…その年度に1回以上、実際に図書館を利用した登録者数

(単位:人)

年度	H3	H8	H13	H18	H23
利用者数	57,077	62,030	61,183	55,116	49,815

工 登録者数

登録者数は、年度末の時点で、図書利用券発行済みの有効利用者数となりますが、減少傾向にあります。

所沢市民の登録者は、全登録者の約95%となります。所沢市民の内、図書館に登録している方は、人口の32.65%です。

登録者の残り約5%は、所沢市に通勤・通学している他市在住の方、相互利用を行っている入間市・狭山市・飯能市の方などです。

(単位:人)

年度	H13	H18	H23
登録者数	151,591	128,170	118,598
所沢市民	—	—	112,057

才 予約受付数

平成18年度は携帯電話からの予約受付開始に伴い、急激に増加しました。平成23年度については、システム更新のための休館の影響で、前年度よりやや減少しましたが、長期的に見ると増加傾向にあります。

(単位:件)

年度	H3	H8	H13	H18	H23
受付数	21,601	65,575	129,671	277,476	341,784
内インターネット	—	—	22,003	171,538	248,300

カ 所蔵数

平成21年度は所沢分館移転開館、平成23年度は新所沢分館開館準備のため、増加しています。

(単位:冊・点)

年度	H3	H8	H13	H18	H23
所蔵数	655,897	762,123	803,162	833,943	902,746

キ 館別貸出数推移

平成22年の所沢分館移転の影響から、本館及び他の分館の貸出数が減少しています。

(単位:冊・点)

年度	H21	H22	H23
本館	670,315	557,929	508,313
所沢分館	85,982	346,454	325,071
椿峰分館	206,122	197,778	188,673
狭山ヶ丘分館	206,710	174,942	191,641
富岡分館	115,907	109,795	105,215
吾妻分館	152,476	139,998	128,557
柳瀬分館	112,533	109,786	104,460
コンビニ	88,553	88,762	79,367
松井小学校図書館	6,639	7,655	7,836
合計	1,645,238	1,733,099	1,639,133

ク 館別利用者数推移

平成22年度は、所沢分館移転開館の影響を受け、本館及び他の分館の利用者数が減少しています。

(単位:人)

年度	H21	H22	H23
本館	225,967	177,910	164,653
所沢分館	27,429	125,716	117,572
椿峰分館	55,051	52,881	49,981
狭山ヶ丘分館	60,127	50,761	54,981
富岡分館	31,929	31,138	28,981
吾妻分館	45,708	42,935	39,063
柳瀬分館	30,903	29,758	27,888
コンビニ	60,643	63,843	56,935
松井小学校図書館	3,804	4,436	4,585
合計	541,561	579,378	544,639

ケ 市民一人当たりの所蔵数・貸出数

年度により、差がありますが、増加傾向にあります。

年度	H3	H8	H13	H18	H23
所沢市人口(人)	306,547	323,379	333,114	339,058	343,103
市民一人当たりの 所蔵数(冊・点)	2.14	2.37	2.41	2.46	2.63
市民一人当たりの 貸出数(冊・点)	3.21	3.85	4.27	4.40	4.78

※人口は、各年度3月末現在

コ 図書購入費の推移

平成16・17年度は、平成16年度末に完成した松井小学校図書館分、平成21年度は、平成22年度に移転した所沢分館分、平成23・24年度は、平成24年度に新規開館した新所沢分館分が含まれていません。

年度	H15	H16	H17	H18	H19
図書購入費 (千円)	70,000	86,601	55,318	50,889	45,893
備品:図書 (千円)	536	696	336	336	336
図書費:計 (千円)	70,536	87,297	55,654	51,225	46,229
人口 (人)	336,150	336,609	337,883	339,058	340,203
市民一人当たりの 購入費(円)	209.8	259.3	164.7	151.1	135.9

年度	H20	H21	H22	H23	H24
図書購入費 (千円)	49,550	75,000	47,868	50,000	55,000
備品:図書 (千円)	336	336	336	330	330
図書費:計 (千円)	49,886	75,336	48,204	50,330	55,330
人口 (人)	340,967	341,750	342,214	342,735	—
市民一人当たりの 購入費(円)	146.3	220.4	140.9	146.8	—

※図書購入費は、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等を含む

サ 平成23年度主要統計の市民年齢別割合

対象を市民とした平成23年度主要統計を、年齢別に見ると、貸出数、のべ貸出利用者数ともに61歳以上が3割を超えていますが、登録者数は当年度累積ともに、2割程度となっています。

(単位:%)

年齢	0~6	7~12	13~15	16~18	19~22	23~30	31~40	41~50	51~60	61~	その他
人口	5.8	5.2	2.7	2.8	4.1	9.7	15.4	14.4	12.1	27.9	0
貸出数	4.1	9.4	1.8	1.1	2.0	4.5	16.8	16.7	11.9	30.9	0.6
のべ貸出利用者数	2.4	7.0	2.0	1.4	2.3	4.9	15.4	17.1	13.1	33.7	0.6
当年度登録者	3.0	11.6	4.0	2.7	4.8	6.8	16.9	15.6	10.4	23.9	0.3
累積登録者	1.8	8.3	5.5	4.9	5.5	11.8	17.1	15.2	9.6	20.3	0

※対象:所沢市民

シ 県内図書館活動調査からの比較

埼玉県西部まちづくり協議会の構成市である所沢市・入間市・狭山市・飯能市（以下「ダイヤ4市」）とは、図書館の相互利用が可能となっています。

また、県内の63自治体のうち、人口30万人以上の市は、さいたま市・川口市・川越市・越谷市・所沢市の5市となります。

ダイヤ4市、人口30万人以上の県内自治体及び県内平均との比較は、以下の通りです。

市町村名	所沢	越谷	川越	さいたま	川口	入間	狭山	飯能	県内平均
奉仕人口(人)	342,021	328,644	345,752	1,232,577	561,966	149,299	154,606	82,832	
蔵書冊数(冊) (視聴覚・雑誌除く)	854,644	569,542	757,202	3,340,017	1,221,400	515,152	605,647	262,535	345,602
市民一人当たりの蔵書冊数(冊)	2.50	1.73	2.19	2.71	2.17	3.45	3.92	3.17	3.02
貸出冊数(冊) (視聴覚・団体貸出除く)	1,552,266	1,584,615	1,739,213	9,631,133	2,913,169	766,837	920,522	293,802	645,624
市民一人当たりの貸出冊数(冊)	4.54	4.82	5.03	7.81	5.18	5.14	5.95	3.55	5.65
図書購入費 (千円)	38,709	71,697	28,930	157,208	100,109	21,500	27,025	2,500	18,854
市民一人当たりの図書購入費(円)	113	218	84	128	178	144	175	30	165

資料:『平成24年度 埼玉の公立図書館』『平成23年度市町村図書館活動調査結果一覧』

※図書購入費は、図書のみ対象/奉仕人口は「埼玉県の推計人口」(平成24年4月1日現在)